

# 西栗倉小だより

令和4年12月23日 NO. 9  
<http://www.es-nishiawakura.jp/index.html>

4 質の高い教育を  
みんなに



## 皆様 良いお年をお迎えください

サッカーワールドカップがカタールで開催され、日本代表の活躍が人々の心を躍らせました。自分の目標に向かって一生懸命な姿は、私のようなわかサッカーファンにはとても魅力的に映りました。そして、VAR（ビデオ アシスタント レフリー）という複数の審判が映像や写真で分析して主審を支える様子も話題となりました。子どもたちがタブレット端末を授業で活用する機会も増えてきていますが、新しい技術の使い方は今後ますます増えていくでしょう。

コロナウイルス感染予防を行いつつも、皆様のご協力をいただきながら2学期の終業式を無事に迎えられること、とてもうれしく感じています。

運動会、修学旅行、海事研修と大きな行事を内容を変えながらも実施できました。今できることを精一杯。こうした工夫や変化に子どもたちは応えてくれたと感じています。

大切なのは、「なりたい自分に」なろうとする姿。子どもたちの「自信 チャレンジ つながり」の力をはぐくむことを教育活動の重点にして、その姿を支えてきた今学期でした。ご家庭でも成長の過程や姿をしっかりとほめ認めていただくようお願いいたします。

さて、明日からは冬季休業日に入ります。安全に、そして有意義に過ごしてほしいです。新しい年の目標をもって3学期を迎えてほしいです。1月10日に、また元気な顔で会いましょう。

### 学校教育目標

「ふるさとを愛し 心豊かにたくましく自ら学ぶ 児童の育成」

健康なからだのために、特に虫歯の治療をお願いいたします。虫歯は治療しなければ治りません。本校の治療率は48%です。

# ふるさと感謝集会

11月8日(火)

地産地消、西粟倉産の新鮮でおいしい野菜や食材を提供いただいている地域生産者のみなさんをお迎えしての集会です。「給食のことを家庭で話題にして」

「西粟倉にはおいしいものが多いことを知って、健康に関心をもって」「森の木材といちごを育てるのはつながっている」「シカのお肉がおいしい秘密は、罾の仕掛けと素早い処理」などインタビューでのお話も興味深いことばかりでした。



15 陸の豊かさも守ろう

つながり



ふるさと元気給食

ふるさと元気食材の紹介

## 田中さんのヤーコン

芋で食べるのと別の様な食感です。煮っぱはお茶っ葉にできます。

さつまいもや芋芋と同じように芋の年々でできるよ!

むくこんなんかんじ!

### ヤーコンってなに?

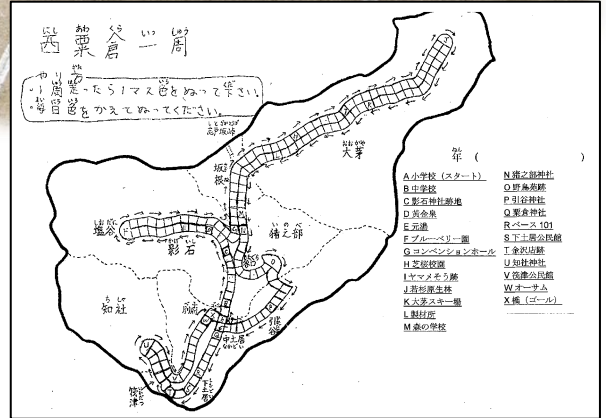
「ヤーコン」は南アメリカ生まれで、日本にやってきたのは今から37年前の1984年。根つこの部分を食べる植物で、大きさや形は「さつまいも」に似ています。さまざまな機能をもつ健康野菜として注目されています。

西粟倉村の自然の良さ、地域の方の工夫を学ぶ機会、よりよい体験をすること、学んだことを発信すること。こうした活動を充実することに本校では力を注いでいます。そのことが、自慢できるふるさとを愛すること、「自信 チャレンジ つながり」の力が育まれると考えています。学校教育に協力をいただいている皆様に本当に感謝しています。

給食や授業で食育の情報を伝えるポスターから

# 持久走運動

11月7日(月)～



持久走運動の適した季節です。業間時間にトラックを走ります。西栗倉1周を目指して、走った周回分を右のカードに色をつけていきます。体育委員会の子ども達が準備をしてくれます。

# 落ち葉拾い 1年

11月2日(水)



落ち葉の季節です。落葉樹は葉を落とし、大地の栄養となります。きれいに色づいた葉や木の実が学習にも使えます。そうなのですが、掃いても掃いてもたまっていく落ち葉。グラウンドを掃いていると、1年生が出てきてくれました。担任が「20までの数は勉強したね。集められる？」と言うと、

「20枚集めた!」、「20と20で40!」「すごいね、20が2つで40だ。」担任と会話しながら楽しそうにどんどん集めていきます。あっという間、終始楽しく。グラウンドがきれいになりました。寒い日でしたが、温かい気持ちでした。



# ぎゅっと読書

11月11日(金)

## わくわく読書 8:20



金曜日の朝の時間は、読書に関わる発表や読書の時間「わくわく読書」があります。今日は、6年生が「平家物語」の暗唱。5年生は、国語で方言を学んだことを紹介してくれました。岡山弁、作州弁も独特ですが、他の地域で聞くと楽しくなるものをスライドを作って発表しました。

## ものがたり給食 12:40



「うんとこしょ どっこいしょ」まだまだかぶは、ぬけません。1年生の「おおきなかぶ」の朗読劇の映像を見ながらのものがたり給食です。献立には、おいしい「かぶのシチュー」。かわいい1年生の姿でした。また、1年生は大喜びでした。

## 読み聞かせ 14:00

ページをめくるごとに絵本の世界に入っているのが、写真からも分かります。ピッピのみなさんによる読み聞かせです。



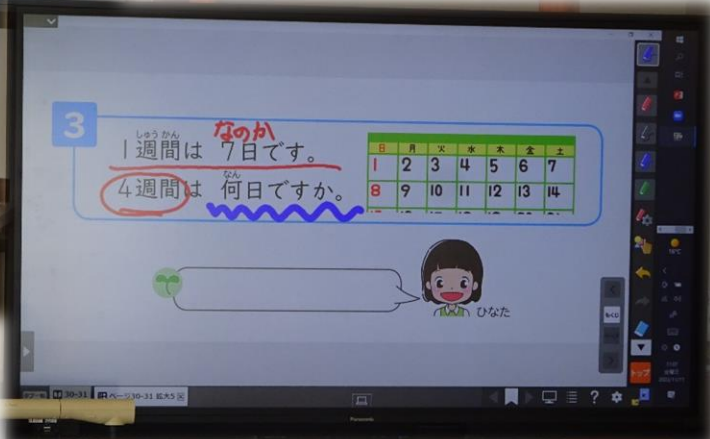
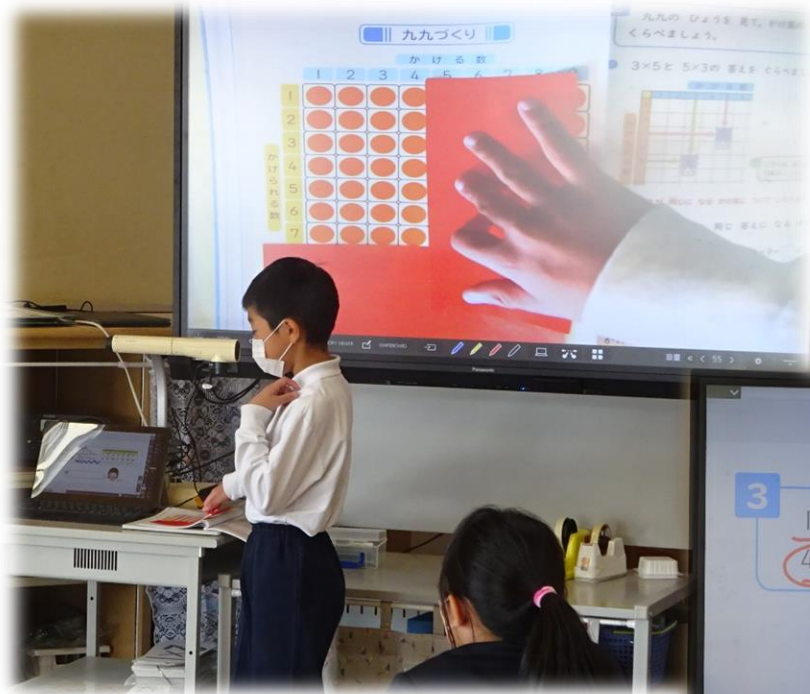
この日は、ぎゅっと読書が凝縮された日となりました。

# かけ算 2年

11月11日(金)

かけ算は身近な生活でよく使います。7の段の九九を覚えることも学習ですが、かけ算の仕組みを生活の場面を例に確かめていく授業です。

1週間は7日です。4週間では、何日ですか。



7日のまとまりを見つけます。算数の言葉で、一つ分、学年が大きくなると一当たり量とも言います。カレンダー（実物）や図を使って、まとまりを見つけられるようにしていきます。

$7 \times 4 =$  という式には、この問題の意味が表されています。

言葉（問題）と図と式が結びつくように進めていきます。

MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY	SUNDAY
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 Mountain Day	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28



「図で考えられるかな」と担任が聞くと、アレイ図（画面の●印が並んだもの）ならできそう。」と子どもたち。

自分で考え、相談し、考えたことを出し合いながら学習を進めます。同時に、九九を暗唱したり、校内で聞いてもらったりして覚えていきます。

15 陸の豊かさも  
守ろう



# 黄金泉見学 3年

11月11日(金)

「西栗倉のよさを広めよう」をテーマに、観光パンフレットづくりを行っている3年生です。

今回の「おすすめの場所」は、「黄金泉」。取材に出かけました。パンフレットには写真を、と様々な角度から撮影していました。これも、プロカメラマンの学習の成果でしょう。大坪店長さんに施設案内をいただき、ご厚意で足湯をしてもよいと言われ、大喜び。



ご厚意に甘え、いろいろな種類の温泉に入らせていただき、体はぽかぽかです。たぬきが昔、この温泉で傷をいやしたというお話を聞いて、「今はどうしているの?」「たぬきも入れるお風呂を作ってあげたい。」と子どもたち。



冒頭の写真では、「受付で働いているように撮りたいので、そこに立ってもらってもいいですか。」と上手にお願いした場面です。取材力も上がっているようですね。

こうした活動に村の皆さんが協力いただいていることに感謝いたします。子どもたちの成長に愛情をもって支えていただいています。

# おいしいクッキー 5年

11月17日(木)



「西栗倉の魅力を伝えよう」をテーマに、見学した西栗倉村の「はちみつ」と「米粉」を使ったクッキーの商品開発です。今日は2回目の試作。4つの案から、2つにそして1つの案に絞りました。試作品は審査を受け、上位のものに磨きをかけて、さらに良いものを作ろうとしています。

完成品は、BASE101%さんのご協力で期間限定、店舗販売です。



1回目の試作の生かして、はちみつの量や卵・バターの中の調整をしました。どの班もサクサクした、おいしいクッキーになりました。加えて今回は、BASE101%の杉山さんからアドバイスをいただきました。「厚さをそろえること。焼き加減。ターゲットとなる年齢層を考えること。はちみつとバターの量の調整。」子どもたちは、助言から工夫を考えます。

厚さは、割り箸を使って揃える。焼きは、180℃で15分、様子をよく見る。ターゲットはいろいろな人が好きな大きさを選ぶように2種類用意する。バターとはちみつは、バターを減らし、はちみつを増やす。

次は3度目のチャレンジです。



西栗倉の人と自然を題材に、これからの将来につながる良質な体験をし、そこから学んだことを次の学習に生かす。育てたい力は、「自信 チallenge つながり」です。常々、村の皆さんの協力と愛情に感謝しています。



# セカンドブックスタート

11月24日(木)  
12月8日(木)



「これは、血沸き肉躍る冒険のお話だよ。」表紙や挿絵で心惹かれ、あらすじを伝えることで想像の世界が広がっていく様子がわかります。表情が変わっていきます。

読み聞かせグループ「ぴっぴ」のみなさんが、10冊の絵本や物語を紹介してくださいました。1年生は続きが読みたい！と思ったはずです。10冊から1冊、自分の読みたい本を選びました。どれにしようか、夢中です。



これは、西栗倉村の事業、「セカンドブックスタート」です。ブックスタートで絵本が渡され、1年生のこの時期に、もう1冊。「自分で本が読める子に」の思いから続けられています。12月8日、教育委員会からいただきました。



本との出会いを大切に。